

明けましておめでとう御座います。

計測会会長の寺倉で御座います。

昨年、前会長守田さんからバトンを引き継ぎました。宜しくお願い致します。

さて、計測会で御座いますが、母体となった計測工学科の第一回卒業生が昭和39年に出てから、57年が経ちます。

他の工学科に比べ歴史は浅いのですが、計測の流れを汲む卒業生は3000名程に及びます。

一方、計測会の会員で御座いますが、従来は、会費を納めたものが会員であるとの、制度を取っております。

しかし、3年前に協力を募ることに変更しております。

協力金で会を運営することで、卒業生全員を、原則、会員と位置付ける基盤を整備しております。

次に、会の活動を一つご紹介します。

昨年はコロナ禍、総会をオンラインで開催しました。

結果は、思いのほか盛況でした。

参加者は対面の総会より多く、50名を超へ、

北は北海道、西は徳島など東海3県以外から多くの方に、

年齢も第一回卒業生をはじめ大先輩の方々に、多数ご参加頂きました。

オンラインゆえの良さが感じられた総会でした。

総会に引き続き催しました講演会では、視聴頂いた方が100名に登りました。

オープン形式とし、視聴頂く対象を名古屋工業会の会員、名古屋工業大学教職員、学生まで、広くしました。

講演会の周知には、名古屋工業会、名古屋工業大学にご尽力を賜ました。

ここに、改めてお礼申し上げます。

実は、視聴頂く対象を広くしたことには、総会のアトラクションという位置づ

けだけでなく、もう一つの思いを託していました。

この講演を特に視聴頂きたかったのは、学生です
普段、接する機会がないであろう分野の、第一人者の言葉を、直接聞く機会を提供することです。

学生が、視野を広くし、志を高くするきっかけになれば、との思いがありました。

講師は、宇宙航空研究開発機構、いわゆるJAXAの元理事山浦様にお問い合わせし、宇宙開発の第一線で活躍されたご経験を、当事者の言葉で語っていただきました。

ちなみに、視聴頂いた学生は16名です。

尚、講演録を、名古屋工業会の会報ごきそ、今月発行の1・2月号と3・4月号に掲載予定で御座います。

また、計測会のホームページを昨年開設しましたが、講演録を掲載しています。是非ご覧ください。

計測会は、会員の親睦の向上を深めるとともに、学生への貢献を掲げます。具体的な取り組みは、役員と会員で知恵を集め、見出し、実行してまいります。

最後になりましたが、皆様のご多幸を願い、計測会からのご挨拶と致します。

計測会会長 寺倉修

2022年1月8日